

# 世界史

## 注意

1. 問題は全部で12ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。**HB**の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

〔 I 〕 以下の文章を読み、設問に答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

問 1 サファヴィー朝時代、16世紀末に首都となった都市は、「世界の半分」と言われた。この都市はどこか。また、サファヴィー朝時代の主要な宗教の派とは何か。都市名と宗派名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 1

- ① プハラ、ハワーリジュ派
- ② イスタンプル、スンナ派
- ③ イスファハーン、十二イマーム派
- ④ カイロ、イスマーイール派

問 2 グラナダを都とする13-15世紀の王朝のもとで建てられた、華麗な庭園で有名な宮殿は何と呼ばれているものか。また、この時の王朝名は何か。宮殿名と王朝名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 2

- ① アルハンブラ宮殿、ナスル朝
- ② トプカプ宮殿、オスマン朝
- ③ アルハンブラ宮殿、ムワッヒド朝
- ④ デリー宮殿、ムガル朝

問 3 ファーティマ朝の初期、10世紀に創立されたイスラーム神学・法学の最高の学院は何と言うか。また、この学院はどこに所在していたか。学院名と所在地名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 3

- ① ニザーミーヤ学院、ダマスクス
- ② アズハル学院、カイロ
- ③ ムセイオン、チュニス
- ④ ナーランダー学院、アレクサンドリア

問 4 セルジューク朝時代，イラン系の宰相は，11世紀，学院を創設した。この宰相は誰か。学院のあったイラン東部のホラーサーン地方の中心的な都市はどこか。宰相の名前と都市名の正しい組み合わせを一つ選びマークしなさい。 4

- ① ニザーム・アルムルク，ニーシャープル
- ② アブド・アッラフマーン，コルドバ
- ③ ハールーン・アッラシード，バグダード
- ④ マンスール，バスラ

問 5 チュニス出身の歴史家は14世紀後半にまとめた著作に歴史発展の法則を述べている。この歴史家は誰か。また，この著作は，通常，何と呼ばれているものか。歴史家の名前と書名の正しい組み合わせを一つ選び，マークしなさい。 5

- ① イブン・ハルドゥーン，『世界史序説』
- ② イブン・ルシュド，『年代記』
- ③ タバリー，『預言者と諸王の歴史』
- ④ ガザーリー，『ハディース』

問 6 フランス出身のフランチェスコ派修道士は東方へ赴き，1254年，モンゴル帝国皇帝と会見した。かれは旅行記を残した。この人物は誰か。また，その時のモンゴル帝国の皇帝は誰か。人物名と皇帝名の正しい組み合わせを一つ選び，マークしなさい。 6

- ① ルブルック，モンケ・ハン
- ② ブーヴェ，オゴタイ・ハン
- ③ プラノ・カルピニ，フビライ・ハン
- ④ モンテ・コルヴィノ，フラグ

問 7 モロッコ出身の人物は、インド、東南アジアまで旅行し、14世紀半ば、旅行記を残した。この人物がインドを訪れたところ北インドを支配していたイスラームの王朝または王国は何か。この人物名と北インドの王朝名または王国名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 7

- ① イブン・バットウータ、トゥグルク朝
- ② アダム・シャルル、ムガル朝
- ③ マルコ・ポーロ、ガズナ朝
- ④ プーヴェ、マラーター王国

問 8 12世紀に活躍したコルドバ出身の人物は、イスラーム哲学、法学、医学方面ですぐれていた。かれはギリシア古典の注釈で有名となった。この人物は誰か。かれがとくに取り上げた古代のギリシアの哲学者とは誰か。この人物名とギリシア人の哲学者名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 8

- ① イブン・シーナー、プラトン
- ② イブン・ルシュド、アリストテレス
- ③ フワーリズミー、リヴィウス
- ④ イブン・ハズム、ポリビオス

問 9 セルジューク朝時代、11-12世紀に活躍したイラン系の人物は天文学、数学にすぐれ、四行詩集をあらわした。四行詩集は何と呼ばれているか。その人物名と詩集の題名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 9

- ① ウマル・ハイヤーム、『ルバイヤート』
- ② サラーフ・アッディーン、『シャリーア』
- ③ ハールーン・アッラシード、『千夜一夜物語』
- ④ フィルドゥシー、『シャー・ナーメ』

問10 イル・ハン国のガザン・ハン時代の宰相は歴史家でもあり歴史書を残した。その歴史書は、通常、何と呼ばれているか。宰相の人物名と歴史書の題名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 10

- ① ラシード・アッディーン、『集史』
- ② マリク・シャー、『王の書』
- ③ アブル・ファズル、『アクバル・ナーマ』
- ④ タバリー、『統治の書』

問11 16世紀中ごろ、オスマン朝の時代、壮大なモスクが建築家スィナンによって建てられた。このモスクが建てられた時のオスマン朝の皇帝は誰か。また、この皇帝は、フランス王と同盟を結んだ。この時のフランスの王は誰か。両者の人名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 11

- ① セリム1世、アンリ4世
- ② メフメト2世、シャルル9世
- ③ アメフト3世、アンリ4世
- ④ スレイマン1世、フランソワ1世

問12 12世紀に建国された両シチリア王国ではビザンツ、イスラーム文化が共存した。この王国を建国した王は誰か。この王のもとで活動したあるイスラーム教徒の地理学者は古代のギリシア人の地理書を改編した地図を作製した。古代のギリシア人の天文学者とは誰か。同王の名前と天文学者名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 12

- ① ウィリアム、プリニウス
- ② フリードリヒ2世、プルタルコス
- ③ リチャード1世、キケロ
- ④ ルッジェーロ2世、プトレマイオス

問13 中世、アラビア海からインド洋ではムスリム商人が三角帆の船を使って活動した。この船はふつう何と呼ばれているものか。また、東南アジアで14世紀末に建国され、後に、イスラーム化した王国は何と言うか。船の名前と王国名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 [13]

- ① ダウ船, マラッカ王国
- ② ジャンク船, ソグディアナ王国
- ③ カラック船, シュリーヴィジャヤ王国
- ④ ガレオン船, サータヴァーハナ王国

問14 15世紀初めごろ、明の時代、雲南出身のイスラーム教徒が指揮する艦隊はインド洋へ遠征した。指揮した人物は誰か。また、その一部は東アフリカまで到達した。東アフリカの港市はどこか。人物名と港市名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 [14]

- ① 郭守敬, アデン
- ② 李自成, スーラト
- ③ 朱元璋, シーラーフ
- ④ 鄭和, マリンディ

問15 カイロ、アレクサンドリアを拠点にして、アイユーブ朝からマムルーク朝にかけて、紅海、インド洋で活動した商人団は何というか。かれらが主に扱った商品は何か。商人団名と商品名の正しい組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 [15]

- ① ガーナ商人, 「金と塩」
- ② アルメニア商人, 「羊毛とスズ」
- ③ カーリミー商人, 「胡椒と香料」
- ④ グジャラート商人, 「砂糖と小麦」

〔Ⅱ〕 以下の文章を読み設問に答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

ブランデンブルク選帝侯国は、1415年以來  が世襲した。  
 は1618年にプロイセン公国を相続し、そのプロイセン公国を1701年  
に王国へと昇格させることで王位を得た。このプロイセン王国を発展させた国王  
が  である。 は、「軍隊王」と呼ばれ、徴兵制を採用し軍隊を  
整備した。その後を継いだのが、「大王」と称される  である。  
 は、官僚制・軍隊の整備を進めるとともに、啓蒙思想に基づいて自国  
の近代化を目指し、啓蒙専制君主の典型とされる。ただし、その統治の思想は身  
分制社会を前提としており、民主的な社会を目指したものではなかった。  
 が王となった同年、オーストリアでは、 が  の  
家領を相続した。これに対し、 の継承に不服であった諸勢力との間で  
戦争が起こった。これが  である。プロイセンは、オーストリア領の一  
部である鉱工業が盛んな  地方を望み、アーヘンの和約でその領有を認  
められた。

この戦争後、オーストリアは、15世紀末のイタリア戦争以来敵対していたフ  
ランスとの協調関係に転換した。これによって、プロイセンは外交的に孤立する  
こととなった。そのため、機先を制するためにプロイセンが先制攻撃をすること  
で再び戦争が始まった。プロイセンは、ヨーロッパ内ではほとんど味方がなく苦  
戦したが、海外植民地でフランスが敗れたことなどが原因で、最終的には長期に  
わたる戦争を戦い抜き、強国の地位を確かなものにした。

他方で、プロイセンは、オーストリア、ロシアとともに、1772年、1793年、  
1795年の三度に渡り、 を分割し消滅させた。

問1 文章中の空欄  に適切な語句を一つ選び、マークしなさい。

- |              |           |
|--------------|-----------|
| ① カペー家       | ② ハプスブルク家 |
| ③ プランタジネット家  | ④ ロマノフ家   |
| ⑤ ホーエンツォレルン家 | ⑥ ヴァロワ家   |
| ⑦ ブルボン家      | ⑧ ヤギェウォ家  |

問 2 下線部分(1)について、プロイセン公国のあった地域を13世紀にカトリック化した騎士団は何か。適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 [17]

- ① テンプル騎士団
- ② レジオンドヌール騎士団
- ③ ヨハネ騎士団
- ④ ドイツ騎士団

問 3 文章中の空欄 (b) に適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 [18]

- ① ヴィルヘルム1世
- ② ヴィルヘルム2世
- ③ フリードリヒ1世
- ④ フリードリヒ2世
- ⑤ フリードリヒ・ヴィルヘルム1世
- ⑥ フリードリヒ・ヴィルヘルム2世
- ⑦ カール6世
- ⑧ マリア・テレジア

問 4 文章中の空欄 (c) に入る人名とその思想をあらわしたとされる言葉の組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 [19]

- ① ルイ14世 — 「朕は国家なり」
- ② フリードリヒ2世 — 「王は君臨すれども統治せず」
- ③ ピスマルク — 「鉄と血」
- ④ フリードリヒ2世 — 「君主は国家第一の僕」

問 5 下線部分(2)について、啓蒙専制君主とされない人物を一つ選び、マークしなさい。 [20]

- ① エカチェリーナ2世
- ② ルイ9世
- ③ カルロス3世
- ④ ヨーゼフ2世

問 6 下線部分(3)について、この当時のプロイセンにおける将校の多くを占めた土地貴族は何と呼ばれるか。適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 [21]

- ① グーツヘルシャフト
- ② ユンカー
- ③ クラーク
- ④ ブルジョワジー



問 7 下線部分(4)について、何年のことか。適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 22

- ① 1648年                      ② 1740年                      ③ 1748年                      ④ 1756年

問 8 文章中の空欄 (d) に適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 23

- ① ヴィルヘルム1世                      ② ヴィルヘルム2世  
③ フリードリヒ1世                      ④ フリードリヒ2世  
⑤ フリードリヒ・ヴィルヘルム1世  
⑥ フリードリヒ・ヴィルヘルム2世  
⑦ カール6世                              ⑧ マリア・テレジア

問 9 文章中の空欄 (e) に適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 24

- ① カペー家                              ② ハプスブルク家  
③ プランタジネット家                      ④ ロマノフ家  
⑤ ホーエンツォレルン家                      ⑥ ヴァロワ家  
⑦ ブルボン家                              ⑧ ヤギェウォ家

問10 文章中の空欄 (f) に適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 25

- ① 百年戦争                              ② 三十年戦争  
③ スペイン継承戦争                      ④ ネーデルラント継承戦争  
⑤ オーストリア継承戦争                      ⑥ 十五年戦争

問11 文章中の空欄 (g) に適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 26

- ① ズデーテン                              ② ベーメン  
③ ザール                                      ④ シュレジエン

問12 下線部分(5)について、これは何と呼ばれるか。適切な語句を一つ選び、マークしなさい。 27

- ① 大陸封鎖                      ② 外交転換                      ③ 外交革命                      ④ 宥和政策

問13 下線部分(5)について、この結果、オーストリアとフランスは婚姻関係を結ぶが、フランス王太子と結婚したのは誰か。適切な人名を選び、マークしなさい。 28

- ① マリー・アントワネット                      ② アン  
③ エリザベート                                  ④ アンヌ・ドートリッシュ

問14 下線部分(6)について、外交的には孤立を深めていたプロイセンだが、プロイセンを支援していた国があった。その国を一つ選び、マークしなさい。 29

- ① ロシア    ② アメリカ合衆国  
③ イギリス    ④ スペイン

問15 文章中の空欄 (h) に当てはまる国家はどこか。また、これに反対し蜂起を起こしたのは誰か。適切な組み合わせを一つ選び、マークしなさい。 30

- ① チェコスロヴァキア — マサリク      ② ポーランド — コシュースコ  
③ ポーランド — コシュート              ④ ハンガリー — コシュースコ

〔Ⅲ〕 20世紀のロシア・ソ連・ソ連圏にかかわる出来事についての文章(イ)～(ニ)を読んで、問A・B・Cに答えなさい。解答用紙は(その2)を使用すること。

(イ) ソ連が東欧諸国を自国の影響下に置くようになると、西ヨーロッパ諸国のソ連に対する警戒心は強くなった。こういった警戒心から、政治家の (a) は、シュテッティンからアドリア海沿岸の (b) に至るまで、大陸を縦断する形で「鉄のカーテン」がおりている、という内容の演説を行いソ連外交への不信感を示した。

(ロ) ロシアが総動員令を出すと、ドイツはロシアとフランスに宣戦した。ロシアは、その年に (c) が率いるドイツ軍に敗北を喫したが、大戦は長期化し、膠着状態になった。しかし、ロシア革命の翌年には、ソヴィエト政権はドイツと条約を結び、同国と講和に踏み切り戦線を離脱した。<sup>(1)</sup>一方、連合国は、ソヴィエト政権打倒のために反革命派を支援し、ロシア領に侵入した。連合国のこの干渉の口実となったのは、ロシアの (d) に抑留されていた (e) 人部隊の救出であった。なお、(c) は大戦後、ドイツの大統領となった。

(ハ) 「人間の顔をした社会主義」を唱え自由化・民主化運動を指導したのは、共産党第一書記となった (f) である。経済の自由化や西ドイツとの友好関係の樹立を含む改革を打ち出したこの運動を民衆は支持したが、やがて、ソ連・東欧数カ国が軍隊を派遣し、この運動を抑圧した。<sup>(4)</sup>

(ニ) ソ連はドイツと (g) 条約を結んだが、数年後、ドイツはこの条約を無視してソ連を攻撃した。このことは、ソ連と (h) の関係の改善をもたらし、独ソ戦開始の翌月には両国の間で対ドイツ戦での相互援助が約束され、翌年には軍事的な内容の協定が締結された。ソ連軍は独ソ戦当初こそ劣勢であったが、攻防戦に持ちこたえ、独ソ戦開始の翌年の夏から約半年続いた戦いで優位を確立した。なお、独ソ戦開始の翌々年には連合国の協調を深めることを目的にして、左翼勢力の組織が解散している。<sup>(5)</sup>

(ホ) ソ連の指導者が死去すると東欧諸国で反ソ連・反政府の機運が高まった。ポ  
(6)ズナニでは、労働者や学生が反乱を起こし、統一労働者党第一書記となった  
(i) が事態を収束させた。この反乱と同じ年、東欧の別の国でも改革を  
要求する運動が起こり、改革派の (j) が首相に就任した。<sup>(7)</sup>しかし、ソ連  
がこの国に軍事介入を行い、(j) は逮捕・処刑された。<sup>(8)</sup>その後、ソ連の  
援助で新しい政権が成立した。

問A

- 1 文章(イ)、(ロ)、(ニ)、(ホ)の波線部分のなかで、現ポーランドの領土が関係し  
ていないものが一つある。その波線を含む文章を(イ)、(ロ)、(ニ)、(ホ)のなかか  
ら一つ選び、解答欄に記入しなさい。
- 2 文章(イ)~(ホ)のなかで、「ベルリンの壁」の建設の後に起こったものをすべ  
て選び、解答欄に記号を記入しなさい。

問B 文中の空欄 (a) から (j) に適切な語句を入れ、解答欄に記入  
しなさい。

問C 下線部分(1)~(8)について、以下の設問に答え、解答欄に記入しなさい。

- (1) この政府で初代外務人民委員として対ドイツ講和の全権を握ったのは誰か。
- (2) この勢力からソヴィエト政権を守るために設けられ、国内戦が終了する頃に廃止された機構の略称は何か。
- (3) この運動の次の年に西ドイツで政権についた首相の人名を答えなさい。
- (4) この軍事介入を正当化するためにソ連の当時の指導者が外交方針を唱えた。その指導者は誰か。
- (5) この組織の名前は何か。
- (6) 東欧諸国の中で、1960年代にソ連から距離を置き、石油生産を中心とした独自の工業化を進めようとした国はどこか。
- (7) この民主化要求運動を含む一連の出来事を何というか。
- (8) これと同じ時期に起こり、国際世論の注目を集めていた戦争は何か。





